



千葉県看護協会 保健師職能委員会

現在、委員長をはじめ7名の保健師が職能委員として活動しています。定期的に委員会を開催し、保健師活動についての現状や課題を共有し、保健師間のネットワークづくりに取り組んでいます。看護職が働きやすい環境づくりを意識し、職能集会や交流会などの開催を企画してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度保健師交流会のお誘い

保健師のあり方を再確認し、輝きながら働き続けるヒントを一緒にみつけないか♡

日 時：令和8年1月27日（火）14時～16時

講演：私も大事、仕事も大事～保健師として輝き続けるために～

講師：東京医療保健大学 東が丘看護学部/大学院看護学研究科
教授 岸 恵美子先生

会場：オンライン開催（ZOOM）

対象：千葉県内在住・在勤の保健師・助産師・看護師（非会員の方も大歓迎）

申し込み方法：千葉県看護協会ホームページ研修申し込みサイト
「マナブル」から申し込みください

マナブルより
申し込み



2025. 10月9日（木）・10日（金）茨城県にて開催

地区別保健師職能委員長会参加報告

10月9日（木）夜は懇親会、10日（金）午前中は他の職能委員長等とも合同で全体研修に参加、午後は関東甲信越10都県（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野）の職能委員長及び日本看護協会松本委員長・職能委員のみなさまと情報共有、意見交換をし、活動に活かせることを学ぶ機会となりました。

○全体研修の主な内容

地元茨城県の生涯学習・社会研究会長谷川会長から「看護の将来ビジョン2040」に向け、看護職が地域の方とつながりながら大切にすべきことは何か、笑いを誘う温かいメッセージを受け、その後日本看護協会秋山会長、地元茨城県看護協会中島会長とのパネルディスカッションでその内容を深めました。

看護の将来ビ
ジョン2040



○保健師職能委員長会の主な内容

保健師の人材育成、現任教育について各地域の取組状況、それに対して看護協会として今後やれる取組等の情報共有、意見交換を実施。
松本委員長より、改正保健師活動指針の進捗の共有、地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取組、保健師確保のための取組（PR動画作成中）等協会として取り組んでいる最新の情報を共有いただきそれに対して意見交換を実施。

地域全体の健康・療養支援と
仕組みづくり



千葉県

看護協会の入会のお誘い

看護協会は看護職の活動を支援する職能団体です。県内に勤務又は居住する看護職であればいつでも加入できます。看護協会からの発信や研修会など自分自身のスキルアップにつながるような情報が沢山あると思います。まだ会員になられていない方のご加入をお待ちしております。詳しくは下記の千葉県看護協会HPをご覧ください。

保健師職能集会および入会の問い合わせ先

千葉県看護協会HP→

公益社団法人 千葉県看護協会 電話043-245-1744



あなたのまちの取り組みを教えてください ～5歳児健康診査～



手賀沼のうなぎちゃん

我孫子市

健康づくり支援課 幸 清香 さん

人口：約13万1千人 年間出生数618人
(R6データ)
開始時期：平成20年4月 対象：5歳児全て
方法：就園児は集団、未就園児は集団と個別

Q1:実施内容

就園児：就学に向けたお話、問診、歯科診察、歯磨き指導、（一部：栄養相談・育児相談・心理相談）

未就園児：集団→SVS、歯科診察、歯磨き指導、設定活動、育児相談or心理相談、（一部：栄養相談・視力検査）、個別医師診察受診券配布、個別→医師診察

Q2:開始までに大変だったこと

医師会の小児科専門医からは、就園児は園医として定期的に診察している上、3歳児健康診査で支援が必要と判断された児は、こども発達センターが手厚く支援しているので、「5歳児健康診査」実施の必要性はないと意見がありました。医師会と協議の上、未就園児のみ個別で医師診察を依頼することとなりました。

Q3:どんな成果を感じていますか？

5歳児健康診査時にはほとんどの児が園に所属しているため、集団生活を過ごす中での課題が見つかりやすく、今までの健康診査では支援につながらなかった児が支援につながることも多いです。また、5歳児健康診査を実施することで、1歳刻みで健康診査を受診でき、妊娠期からの切れ目のない支援にもつながっています。健康診査時に心理士による心理相談を実施することで、小学校入学に向けた発達の相談ができ、また、就学時健診前に発達に課題がある児の把握もできます。

Q4:改善が必要だと感じている点がありますか。

小児科医不足や小児科医の高齢化により、医師の確保が難しい現状があります。1歳6か月児・3歳児健康診査においても集団健診に小児科医が従事することが難しくなり、個別診察となっても、実施する医療機関の少なさや受け入れ枠の不足があります。また、発達等で支援が必要だと判断したが、支援につながらない場合、本人の同意が得られない状況での園や教育委員会等との情報共有ができず、連携が難しい現状があります。

Q5:5歳児健診をこれから開始する自治体へ一言メッセージをお願いします。

我孫子市は独自で5歳児健康診査を行ってきました。国の方針に沿って変更が必要な課題が多くありますが、各市が実施するにあたり少しでも参考になれば幸いです。

成田市

健康増進課 室井 愛美 さん

人口：約13万3千人 年間出生数688人
(R6データ)
開始時期：平成24年4月 対象：5歳児全て
方法：集団



Q1:実施内容

①5歳児健診対象者（年中児）全数にセルフチェック票を配布・返送していただきます。

②5歳児健診受診者は、1）相談を希望される方 2）発達に不安のある方

健診の内容：内科健診、身体計測、歯科健診、ブラッシング指導、個別相談（保健師・心理士・栄養士・歯科衛生士など）です。

Q2:開始までに大変だったこと

開始当時の担当保健師が退職しており詳細は不明ですが、全くの市単独事業として関係機関に賛同いただくまでの打ち合わせ等は苦労していた印象があります。当初すでに実施を開始していた自治体の児童発達心理士が当市にも心理相談員として来ていただいた経緯があったことから、連携に向けて協力をいただくことができました。

Q3:どんな成果を感じていますか？

3歳児健診以降も就学まで切れ目のない継続支援が実施できます。5歳児健診のセルフチェック票への回答をきっかけに、保護者の就学に向けたわが子への関わり方や社会性を客観的に振り返る機会となり、必要に応じて心理相談などの各種相談へつながっています。

Q4:改善が必要だと感じている点がありますか。

就園先（保育園・幼稚園など）、就学相談などを実施する教育委員会との横の連携が取りづらく、事後フォローとしての連携先医療機関等の受け入れが難しい状況が続いています。

Q5:5歳児健診をこれから開始する自治体へ一言メッセージをお願いします。

国の要綱やマニュアルが先行して作成されているため、却って実情に応じた臨機応変な事業展開が難しいのではないかと感じます。保健師として、地域の特性や支援体制など、実情に応じた内容であることが大事ではないかと思しますので、チームで話し合いながら決められると良いと思います。